

インタラクシオンデザイン 第8回 「インタラクシオンのリデザイン」
宮城大学事業構想学部デザイン情報学科
2007.1.16

最終レポート課題

既存の「多種多様多数のアイテムから、ユーザの希望を満たすひとつを適切に選択するシステム」をひとつ選び、そのインタラクシオン上の問題点を指摘し、改良案をふくめて、システムをリデザインせよ。

ここでいうシステムは、オンラインのものも実世界のものもすべて含まれる。

e.g. 就職情報誌, 靴屋, 本屋, 薬局, コーヒーの自動販売機, 鉄道の券売機, 路線案内図, 携帯電話のアドレス帳, iTunes Store, iPod……

本日の進行

ブレスト

対象となりうるシステムをブレインストーミングでリストアップする。

実在し、近所で観察可能なものに限る。

近くに座っている学生5-7人でグループになって。

10分間。

おもしろいもの5個程度を選んでA3用紙に大書する。

ピンナップ&ヴォート

各グループ代表がブレスト結果を掲示。

掲示をみなで10分ほど閲覧。

全対象システムのなかから、なるべくバリエーションが広がるように、ひとり3個まで投票。

集計して、得票上位10案を、検討対象システムとして選定。

検討対象システムについてのブレスト

10システムに学生を振り分ける。抽選かなにかで。

対象システムごとにグループになってディスカッション

何が問題でありうるか

観察事例はどこにあるか

リデザインの可能性はどんなものであるか

以上で、本日は終了。

宿題：各自、自分に割り当てられた検討対象システムの事例を観察し、メモにまとめてくる。
どんなインタラクションのプロセスで選択が行われていくか
システムとユーザの情報のやりとりに注目して、詳しくプロセスを記述
違うプロセスをたどる人もいるのではないか
失敗例を観察したら、その失敗がなぜ起きたかを考える
ユーザはその体験に満足しているか
情報はどんな表現でやりとりされているか
複数の事例を観察する。共通点と相違点に注目。

次回（1月23日）の進行

各自、観察メモをもちよる
グループでメンバーの観察結果を共有
問題点、改良点、リデザインの可能性について自由に討議する
授業評価アンケート

最終レポート

以上のプロセスを経て、各自、検討対象システムのインタラクション上の問題点を指摘し、改良案を
ふくめて、システムをリデザインせよ。

以上をA4サイズにまとめてPDFとし、電子メールに添付して下記あて送付。

送付先: motoe.report+id2@gmail.com
メールのタイトル: id2-学生証番号
ファイルフォーマットはなるべくPDF。無理ならWordでも可。
添付ファイルのタイトル: id2-学生証番号.pdf
ファイルサイズはなるべく8MB以内に圧縮すること。

以上のフォーマットを守らないと、履修漏れが生じる恐れがあるので注意すること。
このレポートで成績をつけるので、単位取得を希望するものは必ず提出すること。

締め切り 2月2日（金）17時のタイムスタンプ